



滝小だより

滝頭小学校学校だより 2017th

平成 29 年 7 月 20 日

8 月号

横浜市立滝頭小学校

校長 鵜飼 数夫

《学校教育目標》手をつなぎ 進んで学ぼう 滝小の子



〒235-0011 横浜市磯子区丸山 2-25-1 TEL 045-751-0344,0345 Fax 045-761-9392

URL: <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/takigashira/> **滝頭小** **検索**

Mail: y3takiga@edu.city.yokohama.jp カラー高解像度版は学校 HP に掲載中 Every day

中干しのススメ

校長 鵜飼 数夫

夏休みを目前に控え、校長室前の花壇の周りには5年生が社会科と総合的な学習で育てているバケツ稲が青々と茂っています。

5月9日にプランターに粃まきをし、苗を育ててから6月9日にバケツの田んぼに植え替えをしました。本物の田んぼと同じように、土面から10cmほど水を張り、乾かないように毎日水の管理をしてきました。



それから約40日後の7月中旬になると、右の写真のように水を抜いて土がひび割れる程度に乾かしています。これは、「中干し」といって、稲をより成長させるために必要な大切な過程なのです。科学的には、土を乾かすことによって土中に酸素がよりいきわたるようになり、根の発育を活発にし「分けつ」（＝根元の株分かれ）を促進するためのものです。これを2～3日つづけた後、また水を湛えてから乾燥、これを7月下旬まで繰り返していきます。そして、穂が付き始める8月上旬から中旬にかけては、たっぷりと水を張り、肥料も施していきます。こうして、旧暦のお盆の頃には白い花が咲くようになります。

これらは、全て夏休み中にやらなければならない仕事ですので、大変です。水をたっぷりと張っておいても、真夏の日差しですぐになくなってしまいます。また、干したままにしておくと、今度は、乾きすぎて枯れてしまいます。いずれも適度な水量をしっかりと管理する必要があります。

人間の成長も同じではないでしょうか。長い夏休みの間、子どもたちにとって、楽な環境ばかり与えていると生活のリズムが乱れ、体調を崩したり、9月の学校生活に慣れるのに時間がかかたります。是非とも、あえて、苦労する体験、不便な体験をさせることによって、しっかりと大地に根を伸ばして踏ん張り、それを克服する自らの力を高められるように、「中干し」をお勧めいたします。大きく成長していく過程にある子どもたちにとっては、この体験が必要なのです。もちろん、大人がタイミングよく適量の「肥料」を与えることも怠ってはいけませんね。

そうすることで、やがて、豊かな実りの秋を迎えられることでしょう。よい夏休みを過ごしてください。

◆滝頭小のホームページでは、第2の学校だよりとして、最新情報・注目情報を続々とお届けしています。毎日、ワンクリックをお願いいたします。

滝頭小 → **検索** <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/takigashira/>